



「生きる力」

前教育委員長 有 沢 準
この度、教育委員の任期満了に伴い、退任することになりました。その間、子どもの「生きる力」を育み、笑顔と成長をしっかりと支えるため、一人一人のよさを引き出し、自信を持たせる教育の推進に努めてまいりました。

人は誰でも認められるとうれしくなり燃えるものです。

感受性の高い子どもにとっては尚更です。

ですから、学校はもちろん家庭でも地域でも、子どものよさを認めて支えることが時代の要請でもあると思います。

皆様には、スキー学習や図書館活動、さらに通学パトロールなど、学校支援ボランティアでもご協力頂きました。

市民の皆様と市議会の協働により、「生きる力」を醸成する教育環境づくりを着実に進められたことに心から感謝致します。

今後とも、一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆ありがとうございます◆



「教育は人づくり」

前教育長 祐 川 正 幸
教育長に就任したのが、4年前、戦後数度目の教育改革の真っ只中にありました。

この間、3つのキーワードで教育行政を推進してきました。1つは「教育委員会の活性化」、2つには「開かれた学校づくり」、3つ目には「家庭・地域の教育力の結集・連携」です。

大人も子どもも「自分に自信が無く将来に希望が持てない」という数字が増える中、教育は「人づくり」という重要な分野であり、厳しい時代でありますが、明日への力を着実に育んでいきたいものです。伊藤博文の教育への言「急務紛更以て速効求むべからず」を受け止め、学校・地域・家庭が課せられた役割を夫々果たすことが、大切と考えます。

時代を担う子どもたちが夢や希望を持ち、心豊かに成長する姿を創出するために、一層の連携を図っていきたいものであります。

市議会議員の皆様、市民の皆様、4年間に難うございました。



「信頼される教育」

教育委員長 江 畠 直 彦
此の度、教育委員に推薦戴き、義務教育の一教員という経歴しかない者が、市民としての広い視野から思考し判断できるのかという

恐れを持ちつつ、自らを奮い立たせて決意したところです。

9月の市議会の記事によりますと、財政が逼迫する中で、地域社会や市民生活を堅持するために様々な論議を深めておりました。教育も又、共通点を有しております。

地域は住民が生活し活動する拠点であり、学校教育はもとより、幼児から高齢者までの多彩な学習活動を通して、豊かな地域生活を醸成することが期待されております。特に、夢や希望の持ちにくい社会の中で、明日への光明を紡ぐものとして教育の役割は重大であります。

「信頼される教育」「機動的な教育行政」を目標に、浅学非才ながら努めて参りたいと思っております。

◆よろしくお願ひいたします◆



「すべては子どもたちのために」

教育長 工 藤 克 則
教育基本法が60年ぶりに改正され、その後教育関連三法も改正される等、教育界は新しい時代に向けた教育改革の大きな転換期に

あります。留萌市においては、財政再建の真っ只中にあって、教育の抱える懸案事項、課題は山積しており、教育長としてその使命と責任の重さを痛感しています。

学校教育については、「すべては子どもたちのために」の思いを胸に、「生きる力」をはぐくむため、幼児期から義務教育修了までの教育を通じて、学校・家庭・地域が一体となって社会全体で子どもを育てる教育環境づくりを更に推進してまいりたいと思います。

また、社会教育にあっては、現代の急激な社会変化の中にあつて、市民個々のニーズに基づく生涯学習の成果を、地域社会に生かすことの出来るよう、より一層の生涯学習社会の構築に努めていきたいと思ひます。

教育委員会としての役割を今一度職員と共に認識を新たに、迅速な教育行政の執行に全力を注いでまいりたいと思ひます。

教育委員会の独立性
多くの人々に対し、強い影響力を及ぼす教育行政は、政治的に中立な立場に立ち、かつ安定的に行われる必要があります。そのため、教育委員会は、市長から独立した公平な意思決定をするために5人の委員による合議制をとっております。

教育委員と教育委員長
委員は、人格が高潔で教育、学術及び文化に関する識見を有するものの中から、市長が議会の同意を得て任命いたします。尚、委員の任期は4年で再任されることもできます。

教育長
委員長は、委員の中から互選で選ばれます。任期は1年ですが、再任されることもできます。委員長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表しております。

教育長を除く委員の中から教育委員会が任命します。任期は、委員としての任期になります。教育長は、教育委員会の指導監督の下に教育委員会の権限に属する全ての事務にあたります。

議会です こんにちは



もくじ

- P10 平成20年第3回定例会議決事項
- P11 教育委員長・教育長 挨拶
- P12 議会を傍聴して「オンブズマン的に」
- P13 議会を傍聴して「議会へ行こう」
- P14 常任委員会の動き
- P15 私たちのまちのこんなことが知りたいよねー その③
- P16 第3回定例会一般質問項目
- P17 衛生センター組合議会、用語解説 ほか

第3回定例会(9月9日から9月24日)で可決されました認定3件、報告2件、議案11件、諮問1件、意見書案10件の主な内容をご紹介します。

認 定

- 平成19年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定
- 平成19年度留萌市水道事業会計決算の認定
- 平成19年度留萌市病院事業会計決算の認定

報 告

- 平成19年度留萌市の健全化判断比率の報告
- 平成19年度留萌市の資金不足比率の報告

議 案

- 平成20年度留萌市一般会計補正予算(第3号)
- 平成20年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成20年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成20年度留萌市病院事業会計補正予算
- 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
- 「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例制定について
- 留萌市税条例の一部を改正する条例制定

北海道市町村備荒資金組合理約の変更
留萌市教育委員会委員(江島直彦氏)の任命
留萌市教育委員会委員(工藤克則氏)の任命

諮 問

人権擁護委員の推薦(越野俊興氏)について

陳 情

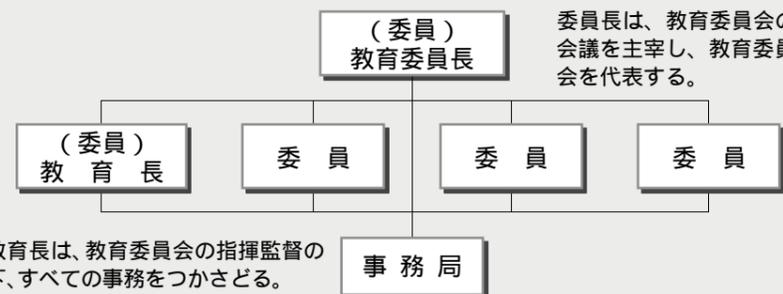
留萌市立幌糠小学校の閉校案の撤回を求める陳情は、第1常任委員会に付託。閉会中の継続審査

意 見 書 案

- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- 「北海道開発の枠組み」の堅持ほか要望に関する意見書
- ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)関連疾患に関する意見書
- 学校耐震化に関する意見書
- 雇用促進住宅の退去困難者への支援強化に関する意見書
- 太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書
- 道路財源の「一般財源化」に関する意見書
- 「特例一時金」を50日分に戻し、季節労働者対策の強化を求める意見書 ほか2件の意見書可決

閉会中の継続審査中のもの
路線の認定及び廃止について、原案可決

教育委員会



委員長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表する。

教育長は、教育委員会の指揮監督の下、すべての事務をつかさどる。

教育委員会について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の定めにより、生涯学習、教育、学術、文化、スポーツなどに関する事務を担当する合議制の執行機関です。

議会へ行こう

—市民のある日のブログから

留萌市民として、一度は行って見たかった市議会傍聴。今日は定休日を利用して、お友達と行って参りました！行ってよかったですね、と、お友達M子ちゃんとの共通の感想。傍聴席は、結構盛況でした（笑）

率直で、勝手な感想です。

議会の室内環境が悪いと思う。

一切の風も通らず、ブラインドも下ろした、ムシ暑い空間。

皆さん、扇子で扇いだり、汗をぬぐったり。

これじゃ、気持ち前向きに集中できるかな？

時折、青い空を見たほうが、いい考えが浮かぶんじゃないかしら？

質問する議員さんは、とても勉強しているんだなあ。街の人の声を、ちゃんと届けて確認してくれてるんだなあ。

議長さんは「議員」「市長」って

必ず指名するけど、必要なかしら？

国会でも言うもんね。それがキマリってもののね。

冒頭に議長さんが「質問を許します」と言って、

M子ちゃんとびっくり。

質問は「許されるモノ」なのね～

具体的な質問が、具体的な答えを引き出すと思っ

た。

広報誌や新聞は隅々まで読まないけど

（ごめんなさい）

議会で実際のやり取りは、自然に頭にしみ込んで

入る。

「ああ、これが、チェック機能ってコトね」と納得。

今日頭に残った数字 改修費6000万

光熱費500万 7年間で毎年約2億円の返済

先日のツアー参加の看護婦さん1名決まりそう

病床利用率70%割れが3年続くと、ベッド数減少

されちゃう（収入減）

議員さん全員の質問風景を見たい。

書いたものを読む質問や答弁よりも

顔をあげて、自分の言葉で話す質問・答弁の方が、

心に響く。（私には出来ませんが。）

感じたコトは色々あるけど。

市民なら、一度は「議会へ行こう!!!」

明日も、行きたくなっちゃった。

留萌市議会評論家になっちゃおうかな（笑）

人のコトより、自分のコト...ですね。

うちのお店だって突っ込みどころ

満載ですもんね（苦笑）

勉強になりました。

最後にもう一度。「議会へ行こう!」

活字にならない空気が読めるよ。

議会へ行こう

今日の議場は、爽やかな風が通る空間でした。

昨日より、居心地良かったです。

2日目の今日も、行ってよかったです！

今日の気づき

議会の室内環境が改善されていた。

風が入って、暑くても気持ちが良かった。空が見えてホッとした。



少ない傍聴者

議会への期待感がないのか？ 市民に危機感がないのか？

黄色信号が点滅している留萌市の財政状況と留萌市立病院に対する質疑が集中した第3回定例会。気になったのが、傍聴者の少なさでした。議会への期待感がないのか、無関心なのか、議会としての取り組みに魅力を感じてもらえていないのか今後の課題となりました。

そんな中、少ない傍聴者ではありましたが、熱心に聴いてくださいました4人の方から感想や意見を寄せていただきましたので、ご紹介いたします。さまざまな視点からのご意見は、今後の議会運営に役立てていきたいと考えています。ありがとうございました。

質問も答弁も「慣れた」人は「うまい」と思った。でも、それは、決して、「いいこと」ではないと思った。昨日から傍聴させていただいた5名の議員さん全員が80分という限られた時間の中で、有効な答弁を引き出すこと、市民の実際の声を届けることに、とても苦慮されていた。

質問者は戦いを挑み、その思いが強ければ強いほど、答弁者は「かわす」といった印象だった。それでも、お互い理解しあう場面、今後に向けて「同じ意識で向かいましょう！」と結ばれた時は、いち市民として嬉しい気持ちになった。

この街の借金は本当に返せる金額なんだろうか？自分で作った、という意識が無いから、行政も市民も、「絶対返さなきゃ！」とは思っていないんじゃないだろうか？（わたしも含めて）

昔の議会はもっと敷居が高く、厳か、だったのだろうか？「住民参加」というけれど、議会の中に居る人はいい意味での、権限や、リーダーシップが、もっとあってもいいのでは？

もっと傍聴する人が、来たらいいのになあ。今日はTさんとふたりだった。議会で使う頭は、特別な頭だと思ふ。傍聴して帰ったらクタクタで、晩御飯後に寝てしまった。議場に季節の花が一輪、あってもいいのに。

国会でも、花なんて無いけど、意見を戦わせる場に、花は必要ないかもしれないけれど、地方の議会で、いい議場を作り上げて、都市部や、国が留萌を真似ちゃうような、モデルになったっていいと思う。言うのは易しい。

実際に、動いてる方は、やっぱり、素晴らしい。なんちゃって。勝手にご意見番、でした。明日からは、本当に自分の持ち場に戻ります。種をまいて、花を咲かせなきゃ！数々の無礼な発言、お許しくださいませ。

議会へ行こうー!!



議場の録音機材を30年ぶりに更新いたしました。老朽化と制御装置の故障によるもので、新しいマイク、録音システム、傍聴席にも新しくスピーカーが取り付けられました。これで議員と理事者の質疑も聞きやすくなります。だからといって、傍聴者が急激に増えるとは限りません。議場と委員会室がある交通の便が悪い市役所まで「議会を傍聴に来て下さい」と言うのは簡単ですが、より多くの市民に市政に対して関心を持ってもらうには、議会そのものが市民に近づくことも大切ではないかと考えております。

「出前議会」や「出張常任委員会」などを検討する時代を迎えているような気がいたします。



「オンブズマン的見地で傍聴を」

田 巻 美恵子（留萌市立病院ボランティア）

最近特に地球温暖化、農業混入食品、事故米に関する物騒な話題ばかり目に耳に飛び込んで来ますが、私達には、どうしてよいか困却するご時勢です。せめて自分の住んでいる周辺のことだけでも知る必要があると思ひ、正確に自分で判断出来る機会として、市議会の傍聴を選んでみました。現在の市長さんで三代の議事を長年、傍聴させていただいておりますが、最近、自分自身が市立病院やF Mもえるのボランティアに協力しておりますと自然と市政に関心をひかれます。



政党施策は異なっても議員の方々の質問内容に幾人かの議員さんの類似質問がありますが、理事者の方も大変かと思われまので、各会派の連携敦慮の上、簡素・明瞭に運んではいかかと思ひます。

また、近年は見られなくなりましたが議会中の議員の居眠りは、定数削減で少数精鋭議員の皆様、緊張に依るせいですか喜ばしいと思ひます。

市民一人一人が一度現状市政を考慮され、お友だちや町内会各位でお出かけ下さってはいかがでしょうか。きっと改めて「るもい市」の今置かれている立場を認識されると思ひます。市政に対するオンブズマン的見地又は勉強のつもりで一度傍聴に足を運んでみませんか。貴方の選んだ議員さんの活躍をその眼で確かめて、そして聞いてみてくださいませんか。

「真剣だが覇気が感じなかった」

板 宮 幸 男
（留萌市南町2丁目）



9月16、18日と議事を傍聴した。議事は終始真剣に取り組んでいた。しかし、二、三疑問が感いた。代表の発言者の一声である「発言の機会を与えられて云々」から始まる。

そんな前置など必要あるのだろうか。もっと内容の充実を考慮するべきでは。

また、質疑、答弁に覇気が感じられなかった。予め決まった筋書通りに進行しているのか。そして、一応に「よろしくお願ひします」や「努力しているところです」などと、さほど突っ込んだ議論にはならない。本当に破たん危機に取り組んでいるとは今議会からは感じられなかった。いずれにしてもこの危機を市民と共に回避すべき責任を果たしてほしいものだ。

「刺激大きく、色々な気づき」

立 崎 龍 馬（札幌在住の学生）

9月の中旬に開かれた定例会の一般質問は、主に市立病院の再建、有効利用の方法、医師、看護師の確保について熱い議論が展開されていたように感じました。財政赤字の大きな原因となっている留萌市立病院を、いかにして建て直すかが今後の留萌市の大きな課題となると思わせる議論の内容だったと思います。他にも新しい雇用拡大の件など様々な問題について、議員と市長が熱く議論を戦わせており、最近では日刊留萌新聞等の地域のメディアでも大きく取

り扱われ、市民の関心も大きくなっていることと思ひます。しかしながら、傍聴者の数は少ない。平日の昼間に開催される為に傍聴しにくいとはいえ、会議場は議論の熱さとは裏腹に少し寂しいようにも感じます。議事を傍聴することで受ける刺激は大きく、色々な「気づき」があるのではないかと感じます。財政再建団体へ向けて崖っぐちの状況の今こそ、まちぐるみで取り組んでいかなければいけない問題は多いと感じました。傍聴席から会議を聞いているだけで、今求められているものは何なのか。すべきことは何なのか少しわかる気がします。そして沸々と、留萌市民としての魂が熱くなる気がします。

私たちのまちのこんなことが知りたいよねー

留萌市の財政や政策についてもっと知りたいこともあるという市民の方の疑問の声に応えるため“こんなことが知りたいよねー”企画をお届けしています。

その3

10月からレジ袋が有料化となり、私もマイバック持参でお買い物に行くようになりました。留萌市のごみの分別も徹底され、どこのまちよりもきれいなマチかなと自慢できます。留萌市の生ごみが小平町で処理されるようになると聞きましたが、生活ゴミがどのような流れで処理されていくのか教えてください。

3市町共同でゴミ処理
現在、留萌南部(留萌市、増毛町、小平町)のゴミ処理は「生ごみ」「可燃ごみ」「資源ごみ」の一部を留萌市の美サイクル館で資源化し、不燃ごみなどについては各市町で埋立処分をしています。
しかし、美サイクル館の機械類の腐食や損耗などが進み、特に生ごみの堆肥化施設や可燃ごみの固形化燃料施設は設備の更新に膨大な経費がかかることから、平成24年度をもって廃止する予定です。
また、各最終処分場についても数年後には計画埋立量に達する見込みであることから、3市町共同でゴミ処理場を整備し、増毛町に最終処分場、留萌市に資源化施設、小平町に堆肥化施設を設置するなど、それぞれ3市町が機能を分担して、平成25年4月の供用開始に向けて施設整備を進めていきます。
なお、広域によるゴミ処理システムについては、図1(案)に示す内容にて両町と検討しております。

今後の広域的なゴミ処理システム(案)

現行の分別	見直し案	処理方法	処分場所
生ごみ	生ごみ	堆肥化	小平町
可燃ごみ	資源物「プラ」 燃焼「紙」	資源化	留萌市 美サイクル館
不燃ごみ	一般ごみ	埋立	留萌市 最終処分場
資源ごみ	資源ごみ	資源化	留萌市 美サイクル館
資源プラ			
粗大ごみ	粗大ごみ	委託処理・一宮処理	増毛町 最終処分場
ペットボトル	ペットボトル	資源化	留萌市 美サイクル館

知りたいことがある方は、議会事務局内(議会広報特別委員会・42-1907番)で受付いたします。



知りたいねー子さん
(市民代表)



おしえたる男さん
(財務課長さん)

先日、留萌市に3,500万円という多額の寄付をされた山口外一さんのことを知りました。お金がない留萌市にとっては救世主のような方だと心から感謝しております。これからも留萌を愛するたくさんの方々からご支援いただけたらいいですね。
ところで、寄付したい金額は、1,000円程度からでもよいのですか?
5,000円以上だと、市・道民税の控除があるとお聞きしましたが、詳しく教えてください。

少額寄附について
「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例では、寄附の下限を1,000円としています。これは、例えば1円で数十回寄附をするなどのいたずらな行為を防ぐためのものであって、もちろん皆様からの善意をお断りするものではありませんので、小額であってもお気軽に問い合わせください。
住民税の控除

個人が地方自治体(全国の市区町村・都道府県)に5千円を超える寄附を行った場合、個人住民税の寄附金税額控除と所得税の寄附金控除が適用されます。寄附金のうち5千円を超える部分について、個人住民税所得割の概ね1割を上限として個人住民税から控除されます。

申告が必要
個人住民税の寄附金控除を受けるためには、毎年1月1日～12月31日までにを行った寄附について、翌年3月15日までに最寄りの税務署に確定申告を行っていただく必要があります。その際、寄附先からもらった領収書などを申告書に添付することが必要ですので、注意してください。なお、個人住民税の寄附金控除だけを受けようとする場合には、所得税の確定申告の代わりに、住所地の市区町村に簡易な申告書による申告を行うこともできます。この場合、所得税の控除は受けられませんのでご注意ください。

常任委員会の動き

「第1常任委員会」(人・まちづくり委員会)
「第2常任委員会」(くらし・健康づくり委員会)

第1常任委員会

《平成20年8月19日開催》報告及び審議事項

【総務部】

留萌市市民防災訓練について
留萌市防災総合訓練について
平成20年度一般会計補正予算について
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
留萌市税条例の一部を改正する条例制定
留萌市恩給条例の一部を改正する条例制定

【産業建設部】

見晴39号通り道路災害復旧工事の完成について
保安対策警備業務委託料について

【政策経営室】

「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例この条例は、未来へつなげるふるさとの海、山、健康づくりを進め、誇りを持って未来を担う子どもたちに引き継ぐまちづくりを進めるため、「ふるさと・るもいの応援団」から寄附金を募るものです。応援寄附は、「若者たちのまちづくりに関する事業」や「ふるさとの海づくり・里山づくりに関する事業」、「ニシン文化の継承に関する事業」などに役立てられます。市では、パンフレットを作成しPRをしていますので、市外や道外の知り合いの方に是非PRしてください。多くの方の応援をお待ちしています。



平成19年度決算資料について
平成20年度補正予算説明資料について
北海道市町村備荒資金組規約の変更説明資料について

【教育委員会】

「公立高等学校配置計画案(平成21年度～23年度)」に係る要望について
市内各小中学校における「いじめ」・「不登校」の状況について
小中学校耐震診断調査事業について
図書購入事業について

第2常任委員会

《平成20年8月19日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

平成20年度補正予算(案)について
報告事項
1) 下水道に関するアンケート調査結果について
・実施期間 平成20年5月27日～7月8日
・対象地域 瀬越町・大町1、2丁目
・調査結果(抜粋) 現在使用しているトイレは、瀬越(汲取り便所79.1%、し尿浄化槽16.2%)大町(汲取り便所56.1%、し尿浄化槽39.0%) 下水道利用について、瀬越(少しでも早く接続したい23.3%、今のところ下水道を利用しない137.2%)大町(少しでも早く接続したい26.9%、今のところ下水道を利用しない26.8%)
2) 平成20年度第4回留萌市上下水道事業運営委員会の開催結果について
3) 平成20年度第3回国民健康保険運営協議会の開催結果について
4) 平成20年度第1回留萌市環境審議会の開催結果について

【健康福祉部】

視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業など社会福祉関係補正予算(案)ほか
平成20年度介護保険事業特別会計歳出予算(案)

【市立病院】

平成20年度病院事業会計補正予算の概要
平成20年度患者数について
留萌市立病院の今後の方向性について
1) 病院経営における現状の課題について
2) 留萌市立病院の将来患者数の推計について
3) 留萌市立病院改革プランの方向性について

囃10/14 増毛町の最終処分場視察



平成25年からの増毛、留萌、小平の3市町共同のゴミ処理が決まり不燃ごみを埋め立てる増毛町信砂にある最終処分場予定地を視察

平成20年 第3回定例会 一般質問の頂上のめ ご紹介いたします

天谷 孝行 議員
(留萌公明党)

- 1 市立病院事業の方向性について
- (1) 財政再生団体転落回避と地域医療の維持
- (2) 経営改革プランと収支均衝計画

菅原千鶴子 議員
(民主・市民連合)

- 1 コミ処理の現状と課題について
- (1) コミの減量について
- (2) 市民理解と今後について
- 2 市立病院の改革に向けて
- (1) 赤字の原因分析について
- (2) 改革プランの示すもの
- (3) 夕張の二の舞を避けるために
- 3 船場公園の今後の展望について
- (1) 管理の現状
- (2) 将来構想について

富田 直樹 議員
(萌芽クラブ)

- 1 市立病院の存続について
- (1) 「病院特例債」申請の進捗状況
- (2) 医師・看護師の確保について
- 2 「るも」コホートピア構想について
- (1) 構想の実施内容とスケジュール
- (2) 「健康の駅構想」の概要
- (3) コホート研究が病院経営にもたらす効果
- (4) 萌芽荘の使用について
- 3 積極的な雇用拡大
- (1) 雇用政策について
- (2) 港を活かした企業誘致
- (3) 民間の誘致活動に対する支援

野呂 照幸 議員
(民主・市民連合)

- 1 支庁制度改革について
- (1) 存続運動について
- (2) 地域振興について

原田 丈三 議員
(萌政会)

- 1 留萌再生への道
- (1) 支庁再編と地域振興策について
- (2) 平成の大合併第2幕への対応について
- (3) 留萌港利活用推進連絡協議会の役割について
- 2 成し遂げたい市長の公約
- (1) 「市長が市民に伝える日」の設置
- 2 医師と看護師を育てる環境づくり
- (1) 市立病院を再生する住民の努力
- (2) るもいコホートピア構想とまちの活性化
- (3) 医師や看護師などを受け入れる環境づくり
- 3 どうなる留萌の教育
- (1) 教育施設の今後の運営方

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

- 1 市立病院の経営健全化について
- (4) 医師・看護師対策について
- 3 緊急燃油対策について
- 2 今後の取り組みについて
- (1) 改革プランについて
- (2) 一般会計からの繰出基準について
- (3) 市立病院の経営健全化について

坂本 茂 議員
(無党派・共産党)

- 1 市の財政健全化と市立病院問題
- (1) 病院の不良債務対策について
- (2) 病院の医療収益を上げるために
- 2 福祉灯油の拡充について
- 3 津波・高波などの災害から市民を守るために
- 4 産・学・官(市)による漁業共同研究の取り組みについて
- 5 教育・学校図書館活動について

小野 敏雄 議員
(萌芽クラブ)

- 1 支庁再編問題について
- (1) 市長の考え方について
- (2) 地域振興について
- 2 財政再建について
- (1) 財政状況の見直しについて
- 3 交流人口の現状と対策について
- (1) 人口減と交流人口対策について
- (2) 行財政改革推進本部について
- (3) 市立病院改革プランとの整合性について

野崎 良夫 議員
(民主・市民連合)

- 1 市町村合併と広域行政について
- (1) 合併の進まない要因
- (2) 今後の展望
- (3) 一部事務組合の課題
- (4) 広域連合への道
- 2 留萌支庁存続を求める運動について
- (1) 成果と課題
- (2) 今後の展開
- 3 議会答弁後の検証について
- (1) フェリーの就航
- (2) 広告収入事業
- (3) 土地売却



トピックス
~知らない「るもい」を体験しよう~をテーマに、10月10日午後5時半から留萌市内で開催された「カルチャーナイト2008 in るもい」。市役所3階の議場が開放され、約120人の家族連れが模擬議会を体験しました。

留萌市外2町衛生センター組合で 一般廃棄物処理施設事務

衛生センター組合で共同処理する事務には、「し尿処理場の設置及び維持管理に関する事務」と「火葬場施設の設置及び維持管理に関する事務」があります。が、9月1日に開催されました組合議会において、事務の変更及び規約の変更が行われ、「一般廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する事務」が新たに組合の共同処理として議決されました。

留萌市、増毛町、小平町の共同処理の状況は、生ごみ、可燃ごみ、資源ごみの一部を留萌市美サイクル館で資源化し、不燃ごみなどについては、それぞれ市町で埋め立てを行ってきております。

しかし、美サイクル館の建設後10年以上が経過し、機械設備の腐食、摩耗が一段と進む中で生ごみ堆肥化や、可燃ごみ固形燃料化などの施設設備の更新期が迫っており、数年後には廃止しなければならぬ状況にあります。

さらに、3市町の最終処分場は、ともに数年後には計画埋め立て量に達する状況を背景として、留萌南部3市町は今後共同で共同処理場を整備することと、増毛町に最終処分場、留萌

市に資源化施設、小平町に堆肥化施設を設置するなど、それぞれ3市町が機能を分担し、平成25年4月の供用開始に向けて施設整備を進めていくことになり、広域の一般廃棄物処理事務を留萌市外2町衛生センター組合でおこなうこととなりました。

また、この度の組合議会において、留萌市外2町衛生センター組合議長に留萌市議会の菅原千鶴子議長が選任されました。



「留萌市・増毛町・小平町」の1市2町で組織される衛生センター組合議会が抱える新たな共同処理方式の選択や衛生センターの老朽化による建て替えの問題など、課題の大きさに身の引き締まる思いです。諸先輩議員や、関係者の声を聞きながら、住民にとって一番良い政策の実現に全力で取り組みたいと思います。」

議長に就任して

菅原 千鶴子 議長

この言葉の意味は?

最近気になる行政用語の解説をいたします

「オープンベッド」とは
開放型病床の意で、患者がかかりつけの診療所の医師と連携病院の医師とが、患者に最善の治療を行うために、情報を共有しともに協力して治療にあたることです。
このことは「病診連携」と言われ、21世紀医療の根幹となります。



「医療クラーク」とは
クラークとは、英語で「事務員」を指し、医師の指示でカルテの記載や処方せん発行、保険会社への診断書作成などの事務作業を行い、アメリカでは医療クラークに相当する医療秘書がほとんどの医師についています。日本では、一般的に「病棟クラーク」として、病棟内のナースステーションに常駐し、医師や看護師など病棟スタッフのスケジュール作成や管理、入院患者の対応や事務処理などを行います。

議会広報特別委員会から

第3回定例会では、9人の議員が一般質問に立ち、留萌市が抱える財政健全化と市立病院の経営改革について、7人の議員が質問をしました。
市の財政健全化計画策定にも大きく影響が出てくる市立病院の経営改革プランについては、市民の理解が最も重要です。いま、留萌市が財政破たん扱いになる「財政再生団体」入りの恐れがあり、行政サービスの縮減、人件費の削減など財源対策の議論が本格化してきます。
多くの市民に関心をもって頂くためにも、我々議員は市民生活のために質問し、行政に対してのチェック機能を働かせ、市民生活を守ることが重要です。
今回の議会は、傍聴人が少なかったようにも感じましたので、どうか皆さん議会にもお気軽に傍聴に来て下さい。
委員長 村山ゆかり・副委員長 村上 均
委員 原田 丈三・野呂 照幸・富田 直樹

留萌市議会事務局 0164-42-1907 (直通) 0164-43-6700
E-mail: rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp